

スクランブル 交差点

マリンバの道をふと振り返り…

特別会員 松本 真理子

のどかな田舎のマリンバスタジオ。広いレッスン室を、と建てたつもりが今となっては狭くてどうしようもありません。4台のマリンバ、グランドピアノ、ドラムセット、寄付してくださった上質のパイプ。10個のバケツに入った大量マレット、天井までの楽譜棚。ほとんど床が見えない状態です。多彩なメンバーが出入りし、鍵は常にオープン。

この地に生まれ育ち、根を張って音楽発信する事67年。多くの方に導かれ支援していただき今尚、大好きなマリンバと向き合っている日々心から感謝します。そんな中、令和3年の秋の叙勲で旭日双光章を受章いたしました。コロナ禍で皇居には参れませんでした。勲章を亡き父母に見せたかったと胸が熱くなりました。何より自分のことの様に喜んでくれたお弟子さん達。本当にうれしかったです。

そこそこの歳になったこの機に、ちょっと振り返りを…と思いました。

小1よりピアノを始め小3より地元小学校の先生に手ほどきを受け、小5より当時天才少女と有名だった小川順子先生とのご一家に、きっちりと基礎を学びました。順子先生には心から感謝しております。大学卒業後JXAの会報の記事に飛びつき、朝吹英一先生ご夫妻とヨーロッパ音楽の旅（音楽の友社主催）へ。楽しかった！その後朝吹先生のレッスンを受け演奏家としての歩みをスタートしました。奈良労音主催の日本フィルとの協演に始まり

おかげさまで、演奏だけで食べられるプロとなりました。市の社会教育委員から県の教育委員を8年、3校の大学と2つの高校の先生、臨床心理カウンセラー、JICAの応援団理事や障がい者施設の後援会長も務め、現在は県の芸術祭「みんなで作る まほろばあいのわコンサート」の音楽監督をしています。私で出来ることは何でもやりたい！特に社会貢献をメインにひた走っています。4つのコーラスの指導、ホールの企画管理アドバイザーとしても動いています。

先日関西打楽器協会の「打楽器フェスティバル」に、ゲストとして安倍圭子先生にご出演いただきました。副理事長としてお近くで接待しながら、本当に多くのことを学ばせて頂きました。80才後半の方とは全く見えない的確な演奏、究極の集中力、哲学的な強いメッセージ。恐れ入りました。10年目の目標として自分の姿を妄想してしまいました。ロールモデルとしてQOL（生活の質）を上げ、後輩たちに憧れてもらえる様な人でいたいと思ったことでした。



今年も門下生による定期演奏会を7月7日に開催いたします。1回も休むことなく実に58回目。私の最も幸せな一日です。海外で活躍する人、大学の先生になった人、音楽療法の専門家になった人、地域の核となり文化活動を続け人々を元気にさせている人…。本当に多彩なお弟子さんが集結してくれます。うちのスタジオのモットーは、前より前へ、脱皮、次の約束をすること、社会貢献です。感謝の心と向上心で、あと少しがんばってみます。